

令和 7 年度  
事業計画書及び収支予算書

一般財団法人伊勢湾海洋スポーツセンター

## 令和7年度事業計画書

### 1. 管理事業

#### (1) 事業運営

項 目	概 要
財団の運営管理	経営計画に沿った津ヨットハーバーの管理運営等を実施し、安定的な収益を確保しつつ健全な財団運営を実施する。
職員給与規定の一部改正	職員の給与は平成21年4月1日施行の職員給与規程を基に適時給料表を改正してきたが、昇格後の定期昇給に合理性が認められない箇所があることから職員給料表の改正を実施する。
未収金への対応	長期未収金は、顧問弁護士の指導のもと法的処置を講じ債権の回収に努め、未収金の解消を図る。

#### (2) 職員の資質向上

項 目	概 要
ボート免許関係の知識と技能の習得	小型船舶操縦免許更新講習及びボート免許等の講師として、必要な資格及び実務経験等を習得する。また、ボート免許関係者との情報交換等の場に積極的に参加し、知識や経験を深められるよう自己研鑽を促す。
普通救命講習の受講	普通救命講習（心肺蘇生法及びAED（自動体外除細動器））を受講する。

### 2. 振興事業

#### (1) 公共的団体等への支援及びサポート事業

項 目	概 要
艇保管料等に対する支援	組織維持及び選手強化等の財源確保が困難な団体に対し、艇保管料等の減額及び免除を実施する。 減免対象団体：津工業高等学校、三重県セーリング連盟、三重大学、津海洋少年団、セイラビリティ津、日本レーザークラス協会
セーリング技術支援	引き続きハーバースタッフを嘱託職員として雇用し、セーリング技術支援及び艇整備支援を実施する。
各団体への支援	各団体が主催するセーリング競技大会等の受付及び運営、レースコースの設置等の要望に対し、積極的な支援を行う。
他団体との連携	三重県セーリング連盟に引き続き加盟する。また、他団体等が実施する事業に協力し、ヨット・モーターボートの体験乗船等を実施することで海事思想の普及に努めるとともに、ヨット以外のマリンスポーツ団体とも協力体制を図っていく。
伊勢湾海洋スポーツセンターヨットクラブへの関与	セーリング経験のあるクラブ員の増加に伴い、艇保有に向けた活動を実施していく。また、引き続きヨット教室等でクラブへの入会を勧め、より多くの方が海洋スポーツに興味を示す環境を整える。

(2) 教室事業

項 目	概 要	実施期間 回数	目 標	受講料／人
ディンギーヨット 教室（１日コース）	ディンギーヨットは継続した練習が必要な乗り物であるが、当面は１日コースの教室を実施する。	５月、７月 年２回	８名	10,000 円
クルーザーヨット 教室（１日コース）	多様な楽しみ方ができるクルーザーヨットの特性を生かし、受講者のニーズに沿った教室を実施する。	６月、７月 年４回	１２名	5,000 円
クルーザーヨット 教室 （マスターコース）	教室（１日コース）を修了された方で、クルーザーヨットの所有を検討されている方を対象に実施する。	通年	５名	3,000 円
クルージング 教室（１泊２日）	教室実施艇以外の僚艇（既存艇）とともに離島等に出かけ、クルージングの醍醐味を味える教室を実施する。	８月	２名	5,000 円

(3) 体験事業

項 目	概 要	実施期間 回数	目 標	参加料／人
乗船体験	クルーザーヨットやモーターボートの操船に必要な技術を実際に体験することによって海洋レジャーへの興味を起こさせる。また、体験を通じ操縦免許証の取得も案内する。	通年	クルーザーヨット 60名	1,000 円 小学生以下 700 円 団体等の割引有
			モーターボート 140名	

(4) イベント事業

項 目	概 要	実施期間 （目標）	参加料
伊勢湾オープン ヨットレース大会	初心者から上級者までヨット愛好者を一堂に集めた大会を開催する。他県の選手や他のマリーナからの参加者も受け入れ、ヨットの普及につなげる。	10月5日 予定 （56艇） （154名）	実行委員会 により決定

項 目	概 要	実施期間 (目標)	参加料
ワンデザイン ヨットレース	近隣マリーナにも参加を呼びかけ、同一艇種によるヨットレースを開催する。	10月 (6艇)	無料
釣りランキング	月間ランキング形式で釣果を発表し年間を通じて実施する。四季おりおりの釣果を競い合い利用者間の交流及び海洋レジャーの発展を図る。	通年	無料

#### (5) 安全に関する啓蒙活動

項 目	概 要
BAN（会員救助システム）の 推奨	利用者に対し（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会が設立した BAN（会員救助システム）への入会を推奨し、出港者の安全をサポートする。
救急救命講習会の実施	津市消防署員を講師に招き、津ヨットハーバー利用者を対象に熱中症及び低体温症に対する応急処置及び予防法等が習得できる講習会を実施する。
大規模災害（地震）への対策	東海、東南海、南海地震等の大規模災害発生時に備え、地震対応マニュアル及び津波対応マニュアルを最新のものに更新し、震災（津波）を想定した対応策の共有を図る。

### 3. 収益事業

#### (1) 主な収益目標

項 目		令和5年度末 (実 績) A	令和6年度 (見 込) B	令和7年度 (目 標) C	増 減 B－A	増 減 C－B
財団ヨット		58 艇	55 艇	55 艇	△ 3 艇	0 艇
		4, 557, 380 円	4, 556, 700 円	4, 578, 000 円	△ 680 円	21, 300 円
財団ボート		17 艇	18 艇	18 艇	1 艇	0 艇
		4, 382, 120 円	4, 799, 460 円	4, 847, 000 円	417, 340 円	47, 540 円
占用ヨット		90 艇	78 艇	78 艇	△ 12 艇	0 艇
		23, 043, 980 円	21, 820, 878 円	22, 006, 000 円	△ 1, 223, 102 円	185, 122 円
占用ボート		29 艇	27 艇	28 艇	△ 2 艇	1 艇
		9, 661, 990 円	8, 970, 370 円	9, 776, 000 円	△ 691, 620 円	805, 630 円
棧橋使用	海上保管	50 艇	55 艇	60 艇	5 艇	5 艇
		19, 099, 173 円	20, 157, 450 円	21, 228, 000 円	1, 058, 277 円	1, 070, 550 円
	その他	2, 660, 390 円	2, 166, 220 円	2, 169, 000 円	△ 494, 170 円	2, 780 円
艇置場合計		244 艇	233 艇	239 艇	△ 11 艇	6 艇
		63, 405, 033 円	62, 471, 078 円	64, 604, 000 円	△ 933, 955 円	2, 132, 922 円
ボート免許講習	小型船舶 免許証取得講習	45 名	30 名	50 名	△ 15 名	20 名
		3, 346, 800 円	2, 212, 000 円	4, 196, 000 円	△ 1, 134, 800 円	1, 984, 000 円
	小型船舶 免許証更新講習	239 名	233 名	275 名	△ 6 名	42 名
		2, 998, 000 円	2, 926, 000 円	3, 450, 000 円	△ 72, 000 円	524, 000 円
	その他	87 名	63 名	81 名	△ 24 名	18 名
		436, 000 円	346, 350 円	460, 000 円	△ 89, 650 円	113, 650 円
ボート免許合計		371 名	326 名	406 名	△ 45 名	80 名
		6, 780, 800 円	5, 484, 350 円	8, 106, 000 円	△ 1, 296, 450 円	2, 621, 650 円

(2) 小型船舶免許証関係講習

項 目	概 要	講 習 料
免許証取得講習	2 級（5 海里以内）ボート免許講習（学科、実技）	9 2, 0 0 0 円
	1 級ボート免許講習（学科、実技）	1 2 5, 0 0 0 円
	1 級ステップアップ講習（学科のみ）	4 0, 0 0 0 円
免許証更新講習	小型船舶操縦免許証更新講習	1 2, 0 0 0 円
	小型船舶操縦免許証失効再交付講習	2 2, 0 0 0 円

(3) 目標達成施策

項 目	概 要
中古艇の斡旋	新規ボート免許取得者及び体験、教室事業参加者に対し、中古（譲渡希望）艇情報等を紹介し、新たな顧客の獲得につなげる。
栈橋使用関係	海上保管お試し使用キャンペーン及び冬季栈橋使用促進キャンペーンを実施し、新規栈橋使用艇を確保する。
小型船舶免許証関係	小型船舶免許証取得講習及び更新講習の受講者獲得に向けたポスターを活用し P R を図る。また、海及び河川等に関係する会社等にも営業活動を行い、操縦免許証新規取得者の獲得を図る。

(4) 津ヨットハーバーの施設維持

項 目	概 要
津ヨットハーバーの施設管理	保管艇数に合わせた適正な場所での艇保管等を実施し、必要に応じて使用許可施設の修繕工事等を三重県に要請する。
施設の環境美化	艇置場及びスロープ等施設の環境美化に努め、利用者へのサービス向上を図る。